



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2016年）](#)

# プレスリリース（2016年）

プレスリリースに掲載されている製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

## 2016年

2016年12月28日

ソリューション

ADME Database バージョン45を発売開始

2016年11月29日

経営・人事

フィンランドに、完全人工光型植物工場を活用する、農作物の生産・販売を行う新会社を設立

2016年11月18日

イベント・セミナー

日本臨床薬理学会学術総会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

2016年11月9日

イベント・セミナー

日本動物実験代替法学会へ化学物質毒性予測システムを出展

2016年10月19日

イベント・セミナー

CBI学会へ毒性予測システムを出展

---

2016年10月6日

ソリューション

Pepper向けロボアプリ「Flex Gear for Microsoft PowerPoint」を販売

---

2016年10月3日

イベント・セミナー

薬物動態学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

---

2016年9月26日

ソリューション

ADME Database バージョン44を発売開始

---

2016年8月30日

ソリューション

『超高速マシンOracle Engineered Systems事前検証サービス』を提供開始

---

2016年7月22日

イベント・セミナー

化学物質管理ミーティング2016にクラウド型の安全性データシート作成支援サービス「ezSDS」を出展

---

2016年7月6日

経営・人事

長期インターンシップ生の募集を開始

---

2016年6月24日

経営・人事

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

---

2016年6月24日

経営・人事

(株)富士通九州システムサービス 役員人事について

---

2016年6月21日

ソリューション

ADME Database バージョン43を発売開始

---

2016年6月8日

イベント・セミナー

日本毒性学会へ毒性・薬物動態予測ソフトを出展

---

2016年5月25日

イベント・セミナー

日本TDM学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

---

2016年5月20日

イベント・セミナー

日本船舶海洋工学会へCAESESを出展

---

2016年4月1日

経営・人事

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

---

2016年4月1日

経営・人事

(株)富士通九州システムサービス 役員人事について

---

2016年4月1日

## 本社移転に関するお知らせ

---

2016年3月25日

ソリューション

『ShunDesigner/DE V2』 データ加工ビューア「キャンバス」機能を追加

---

2016年3月25日

ソリューション

ADME Database バージョン42を発売開始

---

2016年2月12日

ソリューション

Pepper（ペッパー）の「ロボアプリパートナー」として認定

---

2016年1月29日

サービス

クラウド型の安全データシート作成支援サービス「ezSDS」に 配合分解機能を追加

---

## プレスリリース（年別）

---

- プレスリリース（2021年）
- プレスリリース（2020年）
- プレスリリース（2019年）
- プレスリリース（2018年）
- プレスリリース（2017年）
- プレスリリース（2016年）

- [プレスリリース（2015年）](#)
- [プレスリリース（2014年）](#)
- [プレスリリース（2013年）](#)
- [プレスリリース（2012年）](#)
- [プレスリリース（2011年）](#)
- [プレスリリース（2010年）](#)
- [プレスリリース（2009年）](#)

## プレスリリース（カテゴリ別）

---

- [プレスリリース（経営・人事）](#)
- [プレスリリース（ソリューション・サービス）](#)
- [プレスリリース（導入事例）](#)
- [プレスリリース（イベント・セミナー）](#)

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

## ADME Database バージョン45を発売開始

[当社へのお問い合わせ](#)

2016年12月28日

当社は、2017年1月4日(水曜日) よりADME Database バージョン45を発売いたします。

医薬品開発のスピードアップが望まれる昨今、医薬品候補化合物の発見から、臨床に至るまで長期間を必要とする現状があります。このようななかで、医薬品開発において重要となる、薬物代謝に関する文献が数多く発表されており、その文献から目的とする情報を収集するために多大な手間と時間がかかっています。ADME Databaseは非臨床の薬物代謝を中心にデータを収載しており、Webブラウザからキーワードや化学構造を入力することで、効率的に目的とする情報を収集することができます。

今回は、約170件の文献から約1,200件の非臨床薬物代謝データ<sup>(注1)</sup>と、約200件の臨床薬物相互作用データを追加しました。

ADME Databaseは、クロアチアのレンディック博士<sup>(注2)</sup>が文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報<sup>(注3)</sup>を中心としたデータベースです。主に製薬企業における新薬開発、および大学教育の分野でご利用いただいています。

### ADME Database バージョン45

- 製品名  
ADME Database バージョン45
- 特長  
ヒトの薬物代謝酵素に特化したデータベース：  
ヒトの主要な薬物代謝酵素（チトクロームP450）を中心に、約 119,700 件の試験管内実験のデータを収載しています。  
キーワードや構造による検索：  
検索は、キーワード選択のみで行う方法と、複雑な条件を入力して行う方法とがあります。薬物とその代謝物に対して、部分構造や類似構造を検索することも可能です。  
臨床薬物相互作用検索：  
ADME Databaseに収載された臨床薬物相互作用データをキーワードや構造で検索することが可能です。
- 発売日  
2017年1月4日（水曜日）
- 価格  
企業／国公立研究機関向け(同時アクセス数 10)
  - 全データベースパックA<sup>(注4)</sup>：1,620,000円／年（税込）

- ・全データベースパックB (注5)：1,944,000円／年（税込）

教育機関向け

- ・全データベースパックA (注4)：  
研究室ライセンス(同時アクセス数 1)：270,000円／年（税込）  
サイトライセンス(同時アクセス数 50)：810,000円／年（税込）

- ・販売目標  
1年間に30契約を目標とします。

用語説明

注1 非臨床薬物代謝データ:

試験管内実験の薬物代謝酵素に関する情報です。

注2 レンディック博士:

Dr. Slobodan Rendicは、薬物動態分野の著名な研究者です。

注3 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注4 全データベースパックA:

薬物代謝酵素+トランスポーター+キネティックデータベース

注5 全データベースパックB:

全データベースパックA+臨床薬物相互作用データベース


記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年12月28日

会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社  
ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部  
 [お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）](#)

[ページの先頭へ](#) 





[プレスリリース](#)

## フィンランドに、完全人工光型植物工場を活用する、農作物の生産・販売を行う新会社を設立

2016年11月29日

富士通株式会社（以下、富士通）（[注1](#)）と株式会社富士通九州システムズ（以下、FJQS）（[注2](#)）は、Robbe's Little Garden（以下、Robbe's）（[注3](#)）との共同出資により、農業ICTシステムを導入した植物工場を活用し、農作物の生産・販売を行う新会社「Fujitsu Greenhouse Technology Finland Oy（以下、FGTF）」をフィンランドで設立し、11月17日に事業を開始しました。富士通の食・農業分野向けクラウドサービス「FUJITSU Intelligent Society Solution 食・農クラウド Akisai（以下、「Akisai」）」や、LEDを用いた完全人工光、多段式栽培棚、フルオートメーションなど最新技術を導入した植物工場を活用し、2017年度上期より本格生産を開始します。富士通とFJQS、Robbe'sは、FGTFの事業を通じ、冬季において日照時間が少なく厳しい気候となるフィンランドにおいて、ベビーリーフやリーフレタスなど葉物野菜を中心とした農作物の通年での安定生産・供給を実現します。また、本事業で得られたノウハウやクラウドサービス、生産設備をパッケージ化し、EU圏内でのビジネス展開を目指します。

当社へのお問い合わせ



### 背景

新鮮な農作物を消費者に供給するためには、消費地に近い場所で生産することが重要ですが、北欧地域では、冬季の日照時間が短く日差しも弱いために、その期間は農作物の生産が困難です。そこで、フィンランドでは、北欧特有の気候の影響を受けずに農作物の生産が可能な植物工場事業の支援に力を入れています。自国の需要を満たす生産量には届いておらず、一部輸入に頼っている現状です。特に葉物野菜の場合は、主に欧州南部で生産されたものが北欧地域に輸送されているため、収穫から消費者に届くまで時間を要し、鮮度の低下が課題となっています。フィンランドにおける農作物の通年での安定生産・供給の実現に向け、富士通とFJQSは、フィンランドにおいて植物工場による農作物の生産・販売を行う新会社FGTFを、Robbe'sとの共同出資で設立しました。なお、本事業は、事業主体となる3社に加え、フィンランド大使館商務部のコーディネイトにより実現したものです。

### Fujitsu Greenhouse Technology Finland Oy の概要

FGTFは、「Akisai」を構成する施設園芸向けクラウドサービス「施設園芸SaaS」([注4](#))や、UECS（[注5](#)）を利用し、各種センサー情報の収集や生産施設内の機器制御を行うハードウェア、およびRobbe'sの生産技術を組み合わせて栽培します。LEDを用いた完全人工光で作物を生育し、その生育状況に合わせて棚を自動で移動させる多段式栽培棚を活用した効率的な栽培を、空調などの設備の自動制御も含め全自動で行うフルオートメー

ションの植物工場を実現します。ベビーリーフやリーフレタスなどの葉物野菜を中心に、2017年度上期より本格生産を開始し、2017年内より出荷を開始するとともに、Robbe'sの販売網を活用してフィンランド市場向けにビジネスを展開していきます。さらに、「施設園芸SaaS」と多段式栽培棚、センサー、LEDなどの生産設備をパッケージとして商品化し、EU圏での展開を目指します。



図. LED、多段式栽培棚を用いて栽培されている葉物野菜

- 1. 会社名：Fujitsu Greenhouse Technology Finland Oy
- 2. 設立日：2016年11月1日（事業開始日：2016年11月17日）
- 3. 代表者：吉岡 真二（富士通株式会社 グローバルサービスインテグレーション部門 ビジネスマネジメント本部 本部長付）
- 4. 本社所在地：フィンランド リンドコスキ
- 5. 事業地：フィンランド リンドコスキ 敷地面積：約1,300㎡（6段ユニット 栽培面積：約3,400㎡）
- 6. 資本金：2,150,000ユーロ
- 7. 株主構成：富士通 86.4%、FJQS 11.6%、Robbe's 2.0%

販売目標

2020年度までに累計30億円の売上を目指します。

用語説明

- 注1 富士通株式会社：
- 本社：東京都港区、代表取締役社長：田中 達也
- 注2 株式会社富士通九州システムズ：
- 本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：松井 和男
- 注3 Robbe's Little Garden：
- 本社：フィンランド リンドコスキ、CEO：Robert Jordas
- フィンランドで施設園芸を行い、農作物の生産販売をビジネスとする会社。売上：約2.5百万ユーロ、従業員数：約20名。
- 注4 施設園芸SaaS：

センシングによってクラウド上に蓄積された様々なデータを活用し、生産プロセスの見える化や温室の遠隔監視、装置の遠隔制御を実現するクラウドサービス。

注5 **UECS**：

Ubiquitous Environment Control System（ユビキタス環境制御システム）の略。日本で唯一の施設園芸標準通信規格。温室・ハウスに設置された各種の環境計測制御機器を相互に接続し、自律分散協調的（スマート）なICT環境計測制御を実現する情報プラットフォーム。

関連リンク

- <http://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/agri/>（「Akisai」紹介Webサイト）



記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。


**日付:** 2016年11月29日

**会社名:** 富士通株式会社, 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

**株式会社富士通九州システムズ**  
未来社会ソリューション本部 ソーシャルICTソリューション部  
 電話: 092-260-6210  
 [お問い合わせフォームへ](#)

本件に関するお問い合わせ

**富士通株式会社**  
富士通コンタクトライン  
 電話: 0120-933-200  
受付時間：9時～17時30分（土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く）

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

## 日本臨床薬理学会学術総会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

[当社へのお問い合わせ](#)

2016年11月18日

当社は、12月1日（木曜日）から3日（土曜日）にかけて開催される第37回日本臨床薬理学会学術総会に薬物相互作用予測ソフトを出展します。

本年の学術総会では、「薬物治療 イノベーション」を年会テーマとして開催されます。

当社ブースでは、薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」や薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」のほか、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」を出展します。

プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。

是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

## 第37回日本臨床薬理学会学術総会

- 期間：12月1日（木曜日）～12月3日（土曜日）
- URL：<http://www.convention-w.jp/37jscpt/gree.html>

## 当社出展期間

- 12月 1日（木曜日） 9:00～18:00
- 12月 2日（金曜日） 9:00～18:00
- 12月 3日（土曜日） 9:00～15:00

## 会場

- 米子コンベンションセンター 小間No.32  
〒683-0043 鳥取県米子市末広町294

## 当社出展ソリューション

1. 薬物相互作用予測ソフト「**DDI Simulator**」  
「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いたシミュレーションで予測するソフトウェアです。
2. 薬物代謝酵素**P450**/トランスポーターに関するデータベース「**ADME Database**」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士 (注1) が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報 (注2) データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450 (注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポータ (注4) 情報を収載しています。

3. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」
- 「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。
4. PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」
- 「ACD/Percepta」は、各種物性、薬物のADME(吸収、分布、代謝、排泄)、および毒性をコンピュータ上で評価するソフトウェアです。吸収に関する物性、分布容積、たんぱく結合、代謝部位、血中濃度推移等のADME特性、急性毒性、遺伝毒性などを、化合物の構造から得られる情報をもとに予測します。

用語説明

- 注1 レンディック博士:
- レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。
- 注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:
- 投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。
- 注3 チトクロームP450:
- 薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。
- 注4 トランスポータ:
- トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年11月18日  
会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社  
ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



[お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）](#)

[ページの先頭へ](#) 

[利用条件](#)   [個人情報保護ポリシー](#)   [お問い合わせ](#)   [サイトマップ](#)

Copyright 1996 - 2020 FUJITSU KYUSHU SYSTEMS LIMITED

[富士通ホームへ](#) 

[プレスリリース](#)

## 日本動物実験代替法学会へ化学物質毒性予測システムを出展

[当社へのお問い合わせ](#)

2016年11月9日

当社は、11月16日（水曜日）から18日（金曜日）にかけて開催される第29回日本動物実験代替法学会に化学物質毒性予測システムを出展します。

第29回年会では、「分子－細胞－個体の視点からの代替法」を年会テーマとして開催されます。

当社ブースでは、QSAR（構造活性相関）による化学物質の毒性予測、皮膚感作性予測を行う「ADMEWORKSシリーズ」のほか、薬の薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」、薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」を出展いたします。

プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。

是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

## 第29回 日本動物実験代替法学会

- 期間：11月16日（水曜日）～11月18日（金曜日）
- URL：<http://jsaae29.umin.jp/>

## 当社出展期間

- 11月 16日（水曜日） 13:00～17:30
- 11月 17日（木曜日） 9:00～18:00
- 11月 18日（金曜日） 9:00～12:10

## 会場

- 九州大学医学部百年講堂 小間No.20  
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

## 当社出展ソリューション

1. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」  
「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メー



カーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

2. **PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」**

「ACD/Percepta」は、各種物性、薬物のADME(吸収、分布、代謝、排泄)、および毒性をコンピュータ上で評価するソフトウェアです。吸収に関する物性、分布容積、たんぱく結合、代謝部位、血中濃度推移等のADME特性、急性毒性、遺伝毒性などを、化合物の構造から得られる情報をもとに予測します。

3. **薬物相互作用予測ソフト「DDI Simulator」**

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いたシミュレーションで予測するソフトウェアです。

4. **薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」**

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士(注1)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポータ(注4)情報を収載しています。

用語説明

注1 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注3 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注4 トランスポータ:

トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年11月9日

会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社



ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部

 [お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）](#)

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

## CBI学会へ毒性予測システムを出展

[当社へのお問い合わせ](#)

2016年10月19日

当社は、10月25日（火曜日）から27日（木曜日）にかけて開催されるCBI学会2016年大会に毒性予測システムを出展します。

本年のCBI学会は、「in silico 創薬の将来 生体分子シミュレーション、構造生物学、ビッグデータの連携からアカデミア創薬へ」を年会テーマとして開催されます。当社ブースでは、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」、薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」のほか、薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」を出展します。

プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。

是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

## CBI学会2016年大会

- 期間：10月25日（火曜日）～10月27日（木曜日）
- URL：<http://cbi-society.org/taikai/taikai16/index.html>

## 当社出展期間

- 10月 25日（火曜日） 10:00～18:30
- 10月 26日（水曜日） 10:00～18:30
- 10月 27日（木曜日） 10:00～15:00

## 会場

- タワーホール船堀（〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1）  
タワーホール船堀 1階 展示ホール ブースNo.17
- URL：<http://www.towerhall.jp/>

## 当社出展ソリューション

1. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」  
「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メー

カーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

2. **PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」**

「ACD/Percepta」は、各種物性、薬物のADME(吸収、分布、代謝、排泄)、および毒性をコンピュータ上で評価するソフトウェアです。吸収に関する物性、分布容積、たんぱく結合、代謝部位、血中濃度推移等のADME特性、急性毒性、遺伝毒性などを、化合物の構造から得られる情報をもとに予測します。

3. **薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」**

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いたシミュレーションで予測するソフトウェアです。

4. **4. 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」**

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士(注1)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポータ(注4)情報を収載しています。

用語説明

注1 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注3 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注4 トランスポータ:

トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年10月19日

会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社

ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部

 [お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）](#)

[ページの先頭へ](#) 

## Pepper向けロボアプリ「Flex Gear for Microsoft PowerPoint」を販売

[当社へのお問い合わせ](#)

### ～Pepper向けプレゼンテーション用オーサリングツール～

2016年10月6日

Pepper向けロボアプリ「Flex Gear for Microsoft PowerPoint」の販売を開始いたします。当社は、ソフトバンクロボティクス社の「**Pepper**パートナープログラム」によりPepperのロボアプリ開発パートナーとして認定された「ロボアプリ(注1)パートナー (Basic)」です。

(認定ID：[FJQS] PPP201508022 [FQSS] PPP201508028)

このたび、Microsoft PowerPointのスライドショーに連動して、Pepperが発話、アクションするロボアプリを開発いたしました。既存のPowerPointコンテンツを活用することで、誰でも簡単にPepperをプレゼンテーションツールとして活用できます。PepperとPowerPointがあればすぐに始めることができ、社内のプレゼンテーション、セミナーや展示会での製品ご紹介、施設や待合所での絵本朗読など、さまざまなシーンでご活用いただけます。

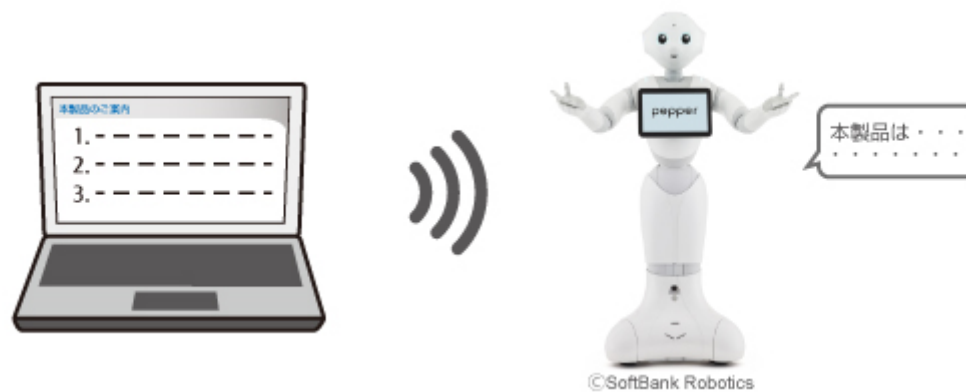
### Pepper向けロボアプリ

- 製品名

Flex Gear for Microsoft PowerPoint

- 特長

本製品は、PepperロボアプリとPowerPointのアドイン機能で構成されています。利用者は、使い慣れたPowerPointの操作によって、誰でも、簡単に、Pepperに発話や動きなどのアクションを実行させることができます。アドイン機能をインストールすると、PowerPointにRobotリボンが追加されます。利用者は、Robotリボンのアクション設定ウィンドウを使用して、PowerPointのアニメーションごとに、発話、モーション、ホイール移動などのアクションを設定します。これらの設定は、スライドショー実行時に、Pepperへリアルタイムに送られ、指定されたアクションを実行します。また、PowerPointのスライドは、Pepperのタブレットにも表示されます。Pepperのアクション設定内容はPowerPointのファイル内に保存されるため、組織内での再利用も容易です。



- 発売日  
2016年10月
- 価格  
2,980円（月額） 当社「Flex Gear®」シリーズ第一弾 特別価格

## 関連リンク

- [Flex Gear for Microsoft PowerPoint紹介サイト](#)

## 注釈

注1 ロボアプリ:

ロボアプリは、ソフトバンクロボティクス株式会社の登録商標です。

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年10月6日

会社名: 株式会社富士通九州システムサービス

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ  
未来社会ソリューション本部 デジタルサービス開発部 担当：常盤、堀野  
☎ 電話: 092-260-6211

[ページの先頭へ](#) ↑



[プレスリリース](#)

## 薬物動態学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

[当社へのお問い合わせ](#)

2016年10月3日

当社は、10月13日（木曜日）から15日（土曜日）にかけて開催される日本薬物動態学会第31回年会に薬物相互作用予測ソフトを出展します。

第31回年会では、「薬物動態研究が切り拓く創薬と薬物治療の新機軸」を年会テーマとして開催されます。

当社ブースでは、薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」や薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」のほか、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」、を出展します。

プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。

是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

## 日本薬物動態学会 第31回年会

- 期間：10月13日（木曜日）～10月15日（土曜日）
- URL：<https://confit.atlas.jp/guide/event/jssx30/top>

## 当社出展期間

- 10月13日（木曜日） 9:00～18:00
- 10月14日（金曜日） 9:00～17:50
- 10月15日（土曜日） 9:00～12:00

## 会場

- 松本市総合体育館 メインアリーナ 小間No.12  
〒390-0801長野県松本市美須々5-1

## 当社出展ソリューション

1. 薬物相互作用予測ソフト「**DDI Simulator**」  
「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いたシミュレーションで予測するソフトウェアです。
2. 薬物代謝酵素**P450**/トランスポーターに関するデータベース「**ADME Database**」



「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士 (注1) が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報 (注2) データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450 (注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポータ (注4) 情報を収載しています。

3. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」
- 「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。
4. PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」
- 「ACD/Percepta」は、各種物性、薬物のADME(吸収、分布、代謝、排泄)、および毒性をコンピュータ上で評価するソフトウェアです。吸収に関する物性、分布容積、たんぱく結合、代謝部位、血中濃度推移等のADME特性、急性毒性、遺伝毒性などを、化合物の構造から得られる情報をもとに予測します。

用語説明

- 注1 レンディック博士:
- レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。
- 注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:
- 投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。
- 注3 チトクロームP450:
- 薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。
- 注4 トランスポータ:
- トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年10月3日  
会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社  
ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



[お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）](#)

[ページの先頭へ](#)

## ADME Database バージョン44を発売開始

[当社へのお問い合わせ](#)

2016年9月26日

当社は、10月1日(土曜日)よりADME Database バージョン44を発売いたします。

医薬品開発のスピードアップが望まれる昨今、医薬品候補化合物の発見から、臨床に至るまで長期間を必要とする現状があります。このようななかで、医薬品開発において重要となる、薬物代謝に関する文献が数多く発表されており、その文献から目的とする情報を収集するために多大な手間と時間がかかっています。ADME Databaseは非臨床の薬物代謝を中心にデータを収載しており、Webブラウザからキーワードや化学構造を入力することで、効率的に目的とする情報を収集することができます。

今回は、約200件の文献から約500件の非臨床薬物代謝データ<sup>(注1)</sup>と、約270件の臨床薬物相互作用データを追加しました。

ADME Databaseは、クロアチアのレンディック博士<sup>(注2)</sup>が文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報<sup>(注3)</sup>を中心としたデータベースです。主に製薬企業における新薬開発、および大学教育の分野でご利用いただいています。

### ADME Database バージョン44

- 製品名

ADME Database バージョン44

- 特長

ヒトの薬物代謝酵素に特化したデータベース：

ヒトの主要な薬物代謝酵素（チトクロームP450）を中心に、約 118,500 件の試験管内実験のデータを収載しています。

キーワードや構造による検索：

検索は、キーワード選択のみで行う方法と、複雑な条件を入力して行う方法とがあります。薬物とその代謝物に対して、部分構造や類似構造を検索することも可能です。

臨床薬物相互作用検索：

ADME Databaseに収載された臨床薬物相互作用データをキーワードや構造で検索することが可能です。

- 発売日

2016年10月1日（土曜日）

- 価格

企業／国公立研究機関向け(同時アクセス数 10)

- ・全データベースパックA<sup>(注4)</sup>：1,620,000円／年（税込）
- ・全データベースパックB<sup>(注5)</sup>：1,944,000円／年（税込）

教育機関向け

- ・全データベースパックA (注4) :  
研究室ライセンス(同時アクセス数 1) : 270,000円／年 (税込)  
サイトライセンス(同時アクセス数 50) : 810,000円／年 (税込)
- ・販売目標  
1年間に30契約を目標とします。

用語説明

注1 非臨床薬物代謝データ:

試験管内実験の薬物代謝酵素に関する情報です。

注2 レンディック博士:

Dr. Slobodan Rendicは、薬物動態分野の著名な研究者です。

注3 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注4 全データベースパックA:

薬物代謝酵素+トランスポータ+キネティックデータベース

注5 全データベースパックB:

全データベースパックA+臨床薬物相互作用データベース


記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年9月26日

会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社  
ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部  
 [お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）](#)

[ページの先頭へ](#) 



プレスリリース

『超高速マシンOracle Engineered Systems事前検証サービス』を提供開始

～Oracleエキスパートが提供する事前検証センター～

2016年8月30日

株式会社富士通北陸システムズ（代表取締役社長：寺田 満明、本社：石川県金沢市）と株式会社富士通九州システムサービス（代表取締役社長：松井 和男、本社：福岡県福岡市）は、データ分析専用マシン「Oracle Exalytics In-Memory Machine」およびデータベース専用マシン「Oracle Exadata」を使用した事前検証サービス『超高速マシン Oracle Engineered Systems 事前検証サービス』を本日より提供いたします。大量データを利用した高速データ分析を必要とするお客様の事前検証環境としてご利用いただけます。

【サービスの概要】

本サービスでは、日本オラクルのデータ分析専用マシン「Oracle Exalytics In-Memory Machine」およびデータベース専用マシン「Oracle Exadata」を利用し、機器導入前のお客様がデータ分析ソフトウェア「Oracle Business Intelligence」およびデータベース管理ソフトウェア「Oracle Database」による処理性能や操作感、In-Memory機能による性能改善効果を事前に確認いただくことができます。

本サービスの概要は以下になります。

項番	名称	概要	価格
1	超高速分析マシン Exalytics 事前検証サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>Oracle Business Intelligenceでの分析／レポートの性能、実現性、操作性についてお客様に用意いただいたデータを使用して検証を行います。</li><li>Oracle Discovererや他社BI製品からの移植性について、お客様に用意いただいたデータを使用して検証を行います。</li></ul>	30万円から (個別見積)
2	超高速データベース Exadata 事前検証サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>Oracle Databaseでのデータ処理性能測定、Oracle Database In-Memory機能による性能改善効果について、お客様に用意いただいたデータおよび、お客様のテストツールを使用して検証を行います。</li></ul>	30万円から (個別見積)

事前検証サービススケジュール例（全体で1～2ヶ月を想定）

当社へのお問い合わせ

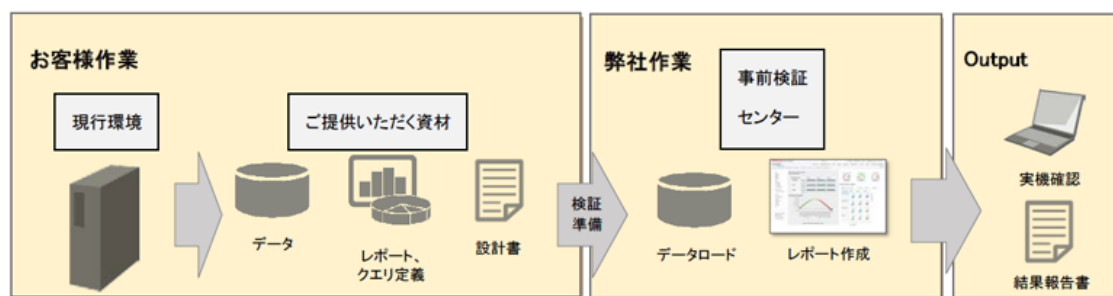




## 事前検証サービスの実施例

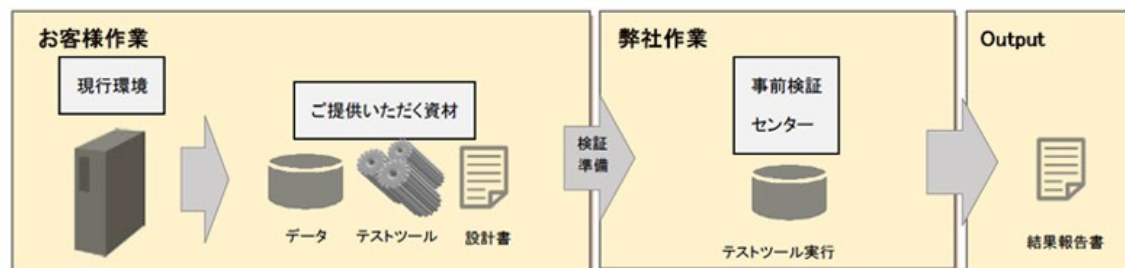
### 1) Oracle DiscovererやOracle製品以外のBI製品から移行時の事前検証

お客様環境でのデータ、レポート、クエリ定義、設計書を基に弊社事前検証センターにてレポートを作成します。事前検証にて作成した環境をお客様に実際にご確認いただくことにより、実際のレポート出力時の操作感を体験していただくことが可能です。また、お客様環境からOracle Business Intelligenceへの操作性および移植性についてご確認いただけます。



### 2) Oracle Database 旧バージョンや、Oracle製品以外のDB製品からのデータベース移行時の事前検証

お客様に用意いただいたデータおよびテストツールを使用し、Oracle Exadataにおける更新・参照処理の処理速度計測を実施します。また、Oracle Database In-Memory機能による性能改善効果やOracle Exadataで利用できる高圧縮機能HCC(Hybrid Columnar Compression)のデータ圧縮効率を確認することも可能です。



サービスの詳細については、下記URLをご参照ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fjh/solutions/for-exa/engineered-poc/>

## 前提条件

Oracle Business Intelligence 11g 以降、Oracle Database 11g（※）以降

※ Oracle Database In-Memory機能はOracle Database 12c以降で使用可能な機能です。

## 販売開始日

即日

## オラクル製品への取組みについて

株式会社富士通北陸システムズおよび株式会社富士通九州システムサービスは2013年以降、Oracle Business IntelligenceによるBIシステム構築を協同で取り組んでおります。他社製品からの移行を含む大規模システムの豊富な経験と知見を活かし、データベース基盤の構築からBIシステムの構築までワンストップのサービスを提供しております。

株式会社富士通北陸システムズはオラクルデータベース認定資格制度ORACLE MASTERの最高峰である「ORACLE MASTER Platinum Oracle Database 11g」の資格取得数が2008年より8年連続国内No.1となりました。（2016年8月現在、ORACLE MASTER Platinum Oracle Database 11g資格取得数：40、12c資格取得数：12）

このORACLE MASTER Platinum資格取得者のノウハウを最大限に活かし、今後、お客様に最適なソリューションを提供してまいります。

## 提供可能なオラクルデータベースソリューション

様々なオラクルデータベースソリューションにおいて、ORACLE MASTER Platinum資格取得者による付加価値の高いサービスをご提供いたします。





詳細については、下記URLをご参照ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fjh/services/> 

## 日本オラクル株式会社様からのエンドースメント

日本オラクルは、富士通北陸システムズおよび富士通九州システムサービスによる、オラクルのエンジニアド・システムを活用した「超高速マシン Oracle Engineered System 事前検証サービス」の発表を歓迎いたします。

富士通北陸システムズと富士通九州システムサービスは、オラクル製品を用いた大規模データベース基盤の構築からBIシステムの構築まで、ワンストップのサービスを長年にわたり提供してきました。

ペタバイト級のデータや数千から数万人単位のデータ分析・活用ニーズが高まる中、両社の豊富な経験を活かし、スペシャリストによる事前検証を行うことで、「Oracle Exalytics」および「Oracle Exadata」によるお客様のインメモリ・データ分析基盤をより迅速かつ低リスクに提供されることを期待しております。

日本オラクル株式会社  
執行役副社長

商標について

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。  
プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年8月30日  
会社名: 株式会社富士通九州システムサービス, 株式会社富士通北陸システムズ

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ  
未来社会ソリューション本部 アナリティクスソリューション部 担当：中武(なかたけ)、目原(めはら)  
☎ 電話: 03-6424-9903  
✉ E-mail: [fqss-obi-contact@cs.jp.fujitsu.com](mailto:fqss-obi-contact@cs.jp.fujitsu.com)

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通北陸システムズ  
クラウド&データマネジメント事業本部 担当：長柄(ながら)、大田(おおた)  
☎ 電話: 03-5782-7511  
✉ E-mail: [fjh-data-contact@cs.jp.fujitsu.com](mailto:fjh-data-contact@cs.jp.fujitsu.com)

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

## 化学物質管理ミーティング2016にクラウド型の安全性データシート作成支援サービス「ezSDS」を出展

2016年7月22日

当社は、8月25日（木曜日）から26日（金曜日）にかけて開催される『化学物質管理ミーティング2016』に、日本ケミカルデータベース株式会社（JCDB）と共同開発した、クラウド型の安全性データシート作成支援サービス「ezSDS」を出展します。

『化学物質管理ミーティング2016』は、化学物質を適正に管理するためのツールやサービスを提供する事業者と化学物質管理で悩みを抱える事業者の双方を結びつける、国内唯一の情報交流展であり、化学工業日報社の主催で開催されます。

当日は「最新法規情報とグローバル対応への取り組み」をテーマに、JCDB社によるプレゼンテーションを予定しております。

是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

当社へのお問い合わせ



### 化学物質管理ミーティング2016

- ・ 日 時：8月25日(木曜日)～8月26日(金曜日)9:30～17:00
- ・ 会 場：パシフィコ横浜 ホールC （横浜市西区みなとみらい1-1-1）
- ・ URL：<http://www.cdssympo.com/cm2016/>

### プレゼンテーション(プレゼンター：JCDB)

- ・ 「最新法規情報とグローバル対応への取り組み」

### 関連リンク

- ・ [「ezSDS」紹介サイト](#)


記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年7月22日

会社名: 株式会社富士通九州システムサービス

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ  
官公庁ソリューション本部 テクニカルサポートセンター  
電話: 096-287-2122  
 [お問い合わせフォームへ](#)

[ページの先頭へ](#) 

プレスリリース

長期インターンシップ生の募集を開始

当社へのお問い合わせ



2016年7月6日

当社は、就職後のミスマッチ解消を目的として、システムエンジニアを志す学生を対象に長期インターンシップ生を募集いたします。実施にあたっては、期間内に開始／終了する実際のプロジェクトで、就業体験をしていただきます。

また、学校側からの要請があれば、単位認定に必要なプロセスにもご協力いたします。昨年度は、独立行政法人沖縄工業高等専門学校様からの要請により、単位認定制の長期インターンシップ生1名を受入れました。

本年度の実施要領について、下記のとおりお知らせいたしますので、内容をご確認のうえ、ぜひご応募ください。

実施概要

項目	取扱い
対象学年/人数	大学院修士1年，高専専攻科1年 / 2名～4名
実施場所	福岡本社（福岡市博多区東比恵1-5-13 東比恵ビジネスセンターⅡ）
実施期間(予定)	9月23日（金）～12月22日（木）
実習日/時間	当社営業日 / 8：40～17：30
補助内容	・ 自宅から通学できない者は、宿舎を用意。 ・ 自宅から通学できない者は、期間中に1回の帰省旅費を支給。 ・ 食事代+教材費で2,000円/日を支給。
その他	実習に必要な機材（パソコン等）は貸与いたします。

実習内容

No.	テーマ	必要とするスキル
1	時系列データを分析するためのディープラーニングプロジェクト	「Python」を使用したプログラム作成経験があること。
2	ドキュメント管理システムのアドオン・カスタマイズプロジェクト	「Java」もしくは「C#」を使用したプログラム作成経験があること。



応募方法

- 上記プロジェクトのいずれを希望するかを明確にして、まずは7月29（金）までに、以下の担当宛に電話かメールでご連絡ください。応募に必要な書類や手続きをご説明いたします。
- [インターンシップ担当]：人財部 渡邊，中園
- Tel：0120-117-242（直通），E-mail：fqss-recruit@cs.jp.fujitsu.com

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。  
プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年7月6日  
会社名: 株式会社富士通九州システムサービス

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ  
総務人事本部 人事部 採用担当  
 電話: 0120-117-242（いいなふじつう）  
 [お問い合わせフォームへ](#)

[ページの先頭へ](#) 

プレスリリース

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

当社へのお問い合わせ



2016年6月24日

本日6月24日開催の第35回定時株主総会ならびに取締役会において、役員体制を下記のとおりといたしましたのでお知らせいたします。

つきましては、役員一同新たな陣容をもちまして業務に精励いたす所存でございますので、何卒倍旧のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

記

取締役・監査役体制

代表取締役社長	松井 和男	
取締役	香川 進吾	(富士通(株)執行役員専務デジタルサービス部門長 兼CTO)
取締役	木脇 秀己	(富士通(株)執行役員常務グローバルサービスインテグレーション部門副部門長(インテグレーション担当))
取締役	山田 徹英	(富士通(株)西日本営業本部九州支社長)
取締役	愛川 義政	
取締役	矢野 伸二	
取締役	園田 武治	
監査役(新任)	常富 安彦	

なお 監査役 吉川 隆は、当社顧問に就任いたしました。

日付: 2016年6月24日

会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ  
総務人事本部 総務部  
電話: 092-260-6200  
 [お問い合わせフォームへ](#)

[富士通ホームへ](#) 



プレスリリース

## (株)富士通九州システムサービス 役員人事について



**2016年6月24日**  
本日6月24日開催の第4回定時株主総会ならびに取締役会において、役員体制を下記のとおりといたしましたのでお知らせいたします。  
つきましては、役員一同新たな陣容をもちまして業務に精励いたす所存でございますので、何卒倍旧のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

記

### 取締役・監査役体制

代表取締役社長	松井 和男	
取締役	愛川 義政	(株) 富士通九州システムズ 取締役執行役員常務
取締役	矢野 伸二	(株) 富士通九州システムズ 取締役執行役員常務
取締役	園田 武治	(株) 富士通九州システムズ 取締役執行役員常務
取締役	鶴川 直秀	
監査役（新任）	常富 安彦	(株) 富士通九州システムズ 常勤監査役

なお、監査役 吉川 隆は、退任いたしました。

### 【会社概要】


社名	株式会社富士通九州システムサービス
代表取締役社長	松井 和男
設立	2012年4月2日
所在地	812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵1-5-13 （東比恵ビジネスセンターⅡ）
資本金	1億円（株式会社富士通九州システムズ100%）

**日付:** 2016年6月24日  
**会社名:** 株式会社富士通九州システムサービス

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ

総務人事本部 総務部

 電話: 092-260-6200

 [お問い合わせフォームへ](#)

[ページの先頭へ](#) 

[富士通ホームへ](#) 

## ADME Database バージョン43を発売開始

[当社へのお問い合わせ](#)

2016年6月21日

当社は、6月28日(火曜日)よりADME Database バージョン43を発売いたします。医薬品開発のスピードアップが望まれる昨今、医薬品候補化合物の発見から、臨床に至るまで長期間を必要とする現状があります。このようななかで、医薬品開発において重要となる、薬物代謝に関する文献が数多く発表されており、その文献から目的とする情報を収集するために多大な手間と時間がかかっています。ADME Databaseは非臨床の薬物代謝を中心にデータを収載しており、Webブラウザからキーワードや化学構造を入力することで、効率的に目的とする情報を収集することができます。

今回は、約100件の文献から約500件の非臨床薬物代謝データ<sup>(注1)</sup>と約80件の臨床薬物相互作用データを追加しました。

ADME Databaseは、クロアチアのレンディック博士<sup>(注2)</sup>が文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報<sup>(注3)</sup>を中心としたデータベースです。主に製薬企業における新薬開発、および大学教育の分野でご利用いただいています。

### ADME Database バージョン43

- 製品名

ADME Database バージョン43

- 特長

ヒトの薬物代謝酵素に特化したデータベース：

ヒトの主要な薬物代謝酵素（チトクロームP450）を中心に、118,000件を超える試験管内実験のデータを収載しています。

キーワードや構造による検索：

検索は、キーワード選択のみで行う方法と、複雑な条件を入力して行う方法とがあります。薬物とその代謝物に対して、部分構造や類似構造を検索することも可能です。

臨床薬物相互作用検索：

ADME Databaseに収載された臨床薬物相互作用データをキーワードや構造で検索することが可能です。

- 発売日

2016年6月28日（火曜日）

- 価格

企業／国公立研究機関向け(同時アクセス数 10)

- ・全データベースパックA<sup>(注4)</sup>：1,620,000円／年（税込）
- ・全データベースパックB<sup>(注5)</sup>：1,944,000円／年（税込）

教育機関向け

- ・全データベースパックA (注4) :  
研究室ライセンス(同時アクセス数 1) : 270,000円／年 (税込)  
サイトライセンス(同時アクセス数 50) : 810,000円／年 (税込)
- ・販売目標  
1年間に30契約を目標とします。

用語説明

注1 非臨床薬物代謝データ:

試験管内実験の薬物代謝酵素に関する情報です。

注2 レンディック博士:

Dr. Slobodan Rendicは、薬物動態分野の著名な研究者です。

注3 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注4 全データベースパックA:

薬物代謝酵素+トランスポータ+キネティックデータベース

注5 全データベースパックB:

全データベースパックA+臨床薬物相互作用データベース


記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年6月21日

会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社  
ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部  
 [お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）](#)

[ページの先頭へ](#) 



[プレスリリース](#)

## 日本毒性学会へ毒性・薬物動態予測ソフトを出展

[当社へのお問い合わせ](#)

2016年6月8日

当社は、6月29日（水曜日）から7月1日（金曜日）にかけて開催される第43回日本毒性学会学術年会に毒性・薬物動態予測ソフトウェアを出展します。

本年の日本毒性学会学術年会では、「健康増進に貢献する毒性学」をテーマに、特別講演、シンポジウム、ワークショップ、ポスター発表などが開催されます。

当社ブースでは、化合物の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKS」シリーズ、薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」、薬物併用時の相互作用を予測する「DDI Simulator®」を出展します。

プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。

是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

## 第43回日本毒性学会学術年会

- 期間：6月29日（水曜日）～7月1日（金曜日）
- URL：<http://jsot2016.jp/index.html>

## 当社出展期間

- 6月29日（水曜日） 9:30～18:15
- 6月30日（木曜日） 9:00～17:45
- 7月1日（金曜日） 9:00～17:00

## 会場

- ウィンクあいち（愛知県産業労働センター） 7階・8階 小間No.58  
（〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38）
- URL：<http://www.winc-aichi.jp/>

## 当社出展ソリューション

1. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」  
「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発だけでなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メー

カーでもご利用いただいております。 搭載しているAMES変異原性予測モデルは、ICH M7ガイドラインにおけるin silico予測にも対応しています。

2. 2. 薬物代謝酵素**P450**/トランスポータに関するデータベース「**ADME Database**」
- 「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士 [\(注1\)](#) が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報 [\(注2\)](#) データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450 [\(注3\)](#)、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポータ [\(注4\)](#) 情報を収載しています。
3. 薬物体内動態シミュレーションソフト「**DDI Simulator®**」
- 「DDI Simulator®」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いて予測するソフトウェアです。薬物相互作用の影響を考慮した投与スケジュールの最適化にもご利用いただけます。

用語説明


- 注1 レンディック博士:
- レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。
- 注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:
- 投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。
- 注3 チトクローム**P450**:
- 薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。
- 注4 トランスポータ:
- トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のもので、その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年6月8日  
会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社  
ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部  
 [お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）](#)





## プレスリリース

## 日本TDM学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

当社へのお問い合わせ



2016年5月25日

当社は、5月28日（土曜日）から29日（日曜日）にかけて開催される第33回日本TDM学会・学術大会に薬物相互作用予測ソフトウェアを出展します。

本年の日本TDM学会では、「TDM<sup>(注1)</sup>の活用拡大に向けて」を大会テーマに掲げ、さらなるTDMの発展に繋がることを期待し、講演・シンポジウム・ワークショップ等がおこなわれます。

当社ブースでは、薬物治療の最適化技術の一つとして薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator®」を出展いたします。その他、薬物代謝酵素・トランスポーター・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」も出展いたします。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

## 第33回日本TDM学会・学術大会

- 期間：5月28日（土曜日）～5月29日（日曜日）
- URL： <http://www.mtoyoy.jp/tdm33/>

## 当社出展期間

- 5月 28日（土曜日） 9:00～17:00
- 5月 29日（日曜日） 9:00～15:30

## 会場

- 栃木県総合文化センター 2階 第4ギャラリー 小間No.8  
〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8
- URL： <http://www.sobun-tochigi.jp/access.html>

## 当社出展ソリューション

1. 薬物相互作用予測ソフトウェア「**DDI Simulator®**」  
「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いて予測するソフトウェアです。薬物相互作用の影響を考慮した投与スケジュールの最適化にもご利用いただけます。
2. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「**ADMEWORKS**シリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発だけでなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

3. 薬物代謝酵素**P450**/トランスポータに関するデータベース「**ADME Database**」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士 (注2) が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報 (注3) データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450 (注4)、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポータ (注5) 情報を収載しています。

用語説明

注1 **TDM:**

Therapeutic Drug Monitoringの略で、治療効果や副作用に関する様々な因子をモニタリングしながらそれぞれの患者に個別化した薬物投与をおこなうことです。

注2 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注3 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注4 チトクローム**P450**:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注5 トランスポータ:

トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。


記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年5月25日

会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社  
ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部  
 [お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）](#)



[プレスリリース](#)

## 日本船舶海洋工学会へCAESESを出展

2016年5月20日

当社は、5月26日（木曜日）から27日（金曜日）にかけて開催される日本船舶海洋工学会 平成28年春季講演会にCFD連携形状最適化ソフト「CAESES」を出展します。

「CAESES」は、船体やプロペラの翼面などの流体性能が重視される滑らかな自由曲面形状の作成に適したCADの機能と、その自由曲面形状を他のCFDソフトと連携して、より高い流体性能を発揮するように最適化する機能を持っています。世界で唯一、CAD機能と最適化機能の両方を兼ね備えたソフトウェアです。

是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

### 当社へのお問い合わせ



### 日本船舶海洋工学会 平成28年春季講演会

- 期間：5月26日（木曜日）～5月27日（金曜日）
- URL：[http://www.jasnaoe.or.jp/lecture/lec\\_h28spr/index.html](http://www.jasnaoe.or.jp/lecture/lec_h28spr/index.html)

### 当社出展期間

- 5月26日（木曜日） 9:20～17:20
- 5月27日（金曜日） 9:00～16:40

### 会場

- 福岡県中小企業振興センター 2階ロビー  
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9-15
- URL：<http://www.joho-fukuoka.or.jp/hall/>

### 当社出展ソリューション

- **CFD連携形状最適化ソフトウェア「CAESES」**  
「CAESES」は、船体や航空機の外表面、プロペラの翼面などの流体性能が重視される滑らかな自由曲面形状の作成に適したCADの機能と、その自由曲面形状を他のCFDソフトと連携して、より高い流体性能を発揮するように最適化する機能を持っています。世界で唯一、CAD機能と最適化機能の両方を兼ね備えたソフトウェアです。CADでモデルを作成した後、CFDソフトで解析した流速・圧力損失などの性能評価結果を基に、新たな改良モデルを作成して再び解析・性能評価を繰り返す、という最適化のプロセスを自動実行することが可能です。欧州を中心に、造船・自動車・航

空宇宙・回転機械・流体機械・エネルギー関連企業、および教育・研究機関に広く普及しています。

関連リンク



- [CAESES紹介サイト](#)

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

**日付:** 2016年5月20日  
**会社名:** 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

**株式会社富士通九州システムズ**  
エンジニアリングソリューション本部 HPCソリューション部  
 電話: 092-260-6224  
 E-mail: [fjqs-cae-sales@cs.jp.fujitsu.com](mailto:fjqs-cae-sales@cs.jp.fujitsu.com)

[ページの先頭へ](#) 

プレスリリース

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

2016年4月1日

当社は、4月1日付で役員体制を下記のとおりといたします。  
つきましては、役員一同新たな陣容をもちまして業務に精励いたす所存でございますので、  
何卒倍旧のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



記

取締役・監査役体制

代表取締役社長（新任）	松井 和男	
取締役	香川 進吾	（富士通（株）執行役員専務デジタルサービス部門長 兼CTO）
取締役（新任）	木脇 秀己	（富士通（株）執行役員常務グローバルサービスインテグレーション部門副部門長（インテグレーション担当））
取締役	山田 徹英	（富士通（株）西日本営業本部九州支社長）
取締役	愛川 義政	
取締役	矢野 伸二	
取締役（新任）	園田 武治	
監査役	吉川 隆	

なお 代表取締役社長 黒田 高史 は当社常任顧問に就任いたしました。  
また 取締役 谷口 典彦 は退任いたしました。

執行役員体制

執行役員社長（新任）	松井 和男	
執行役員常務	愛川 義政	総務人事本部ならびに事業戦略本部担当
執行役員常務	矢野 伸二	エンジニアリングソリューション本部担当
執行役員常務（昇格）	園田 武治	産業流通ソリューション本部ならびにヘルスケアソリューション本部担当
執行役員	小田 均	社会ソリューション本部担当
執行役員	本橋 敦彦	公共ソリューション本部担当
		基盤ソリューション本部ならびに官公庁ソリ

執行役員	愛川 美文	ユーシオン本部担当
執行役員	鈴木 正司	品質保証本部担当
執行役員（新任）	大島 昭	未来社会問題ソリューション本部担当


日付: 2016年4月1日

会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ

総務人事本部 総務部

 電話: 092-260-6200

 [お問い合わせフォームへ](#)

[ページの先頭へ](#) 

プレスリリース

(株)富士通九州システムサービス 役員人事について

当社へのお問い合わせ



2016年4月1日

当社は、4月1日付で役員体制を下記のとおりといたします。  
つきましては、役員一同新たな陣容をもちまして業務に精励いたす所存でございますので、  
何卒倍旧のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

記

取締役・監査役体制

代表取締役社長（新任）	松井 和男	
取締役	愛川 義政	（株）富士通九州システムズ 取締役執行役員常務
取締役	矢野 伸二	（株）富士通九州システムズ 取締役執行役員常務
取締役（新任）	園田 武治	（株）富士通九州システムズ 取締役執行役員常務
取締役	鶴川 直秀	
監査役	吉川 隆	（株）富士通九州システムズ 常勤監査役

なお、代表取締役社長 黒田 高史は、退任いたしました。

【会社概要】

社名	株式会社富士通九州システムサービス
代表取締役社長	松井 和男
設立	2012年4月2日
所在地	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-2-1富士通九州R&Dセンター
資本金	1億円（株式会社富士通九州システムズ100%）

日付: 2016年4月1日


会社名: 株式会社富士通九州システムサービス

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ



総務人事本部 総務部

 電話: 092-260-6200

 [お問い合わせフォームへ](#)

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

## 本社移転に関するお知らせ

**2016年4月1日**

当社は、本年5月9日（月）に福岡市早良区百道浜から福岡市博多区東比恵の「東比恵ビジネスセンターⅡ」に本社を移転します。

現在当社は、百道浜の「富士通九州R＆Dセンター」と東比恵の「東比恵ビジネスセンターⅠ」に合計約1,000名が勤務しております。

今般 東比恵地区に社員の勤務場所を統合することで社内の業務効率化を高めるとともに、富士通株式会社九州支社を始めとするグループ企業との連携を強化し、お客様へのサービスレベルの向上を目指します。

また、当社の技術をオフィスに活用したIoTソリューション事例も紹介してまいります。ぜひとも、倍旧のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 記

### 新本社の概要

#### 1. 移転先

- 住所

〒812-0007

福岡市博多区東比恵1丁目5番13号 東比恵ビジネスセンターⅡ

- 代表電話

092-260-6200

- 構造

鉄骨造 地上6階建

- 貸主

福岡地所株式会社

- 施工

株式会社フジタ

- 賃借面積

6,016.13㎡（1,819.87坪）

- 交通

福岡市営地下鉄空港線 東比恵駅 1番出口直結

#### 2. 入居社員数 約1,000名

#### 3. 業務開始日 2016年5月9日（月）

[当社へのお問い合わせ](#)

[オフィスIoTソリューション事例](#)

1. ロボット（**Pepperくん**）による来訪者案内ソリューション

当社は、ソフトバンクロボティクス株式会社の「Pepperパートナープログラム」の第一期ロボアプリパートナー(Basic)に認定されております。当社にご訪問いただいたお客様は、まずPepperくんが受付手順をご案内いたします。

2. オフィスビルにおけるトイレの「困りごと」解決ソリューション

ホワイトカラーの職場では、一定の時間帯にトイレの利用が集中するため、利用者はしばしば各階の空きトイレを探し歩く必要が生じます。当社は、社員の悩みを解決するために、各階のトイレの空き状況が、自席のパソコンや廊下の表示板で確認できる仕組みを構築しました。また、トイレ内で急な病を発症した場合、密室であるために発見が遅れることがあります。当社では、前述の仕組みに、緊急ボタンによる通報機能および、一定時間以上の利用者に対して音声による安否確認を行う機能を付加し、早期発見につなげます。加えて、環境観測（温度、湿度、気圧）機能によるトイレ環境の保全に努めます。装置から送信されるデータは、ニフティクラウド上のサーバに蓄積され、執務席からの照会はもちろん、今後様々なビッグデータ分析に活用して参ります。当社は、トイレのIoT（Internet of Toilet）を通して、これらを社会に有用なソリューションとして成長させるべく、IT業界で唯一「NPO法人日本トイレ研究所（Japan Toilet Labo.）に加盟し、日々研究を重ねております。


3. 共連れ防止&館内サポート画像ソリューション

開閉式の扉では、1枚のセキュリティカードで複数名が通過する、いわゆる「共連れ入館」がセキュリティ対策上の課題となります。当社では、画像解析技術を活用して、セキュリティカメラで「共連れ入館」を自動的に検知・警告を発し、管理者に通報する仕組みを開発しました。また、各階の廊下には、行き先を迷っておられるお客様を自動的に発見し、管理者に知らせ、お声がけにつなげる仕組みを導入します。これらにより、お客様の大切な情報を預かる企業としてのセキュリティ強化と、サービス向上を図ってまいります。

日付: 2016年4月1日

会社名: 株式会社富士通九州システムズ, 株式会社富士通九州システムサービス

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ  
総務人事本部 総務部  
 電話: 092-260-6200  
 [お問い合わせフォームへ](#)

[ページの先頭へ](#) 

プレスリリース

# 『ShunDesigner/DE V2』 データ加工ビューア「キャンバス」機能を追加

当社へのお問い合わせ

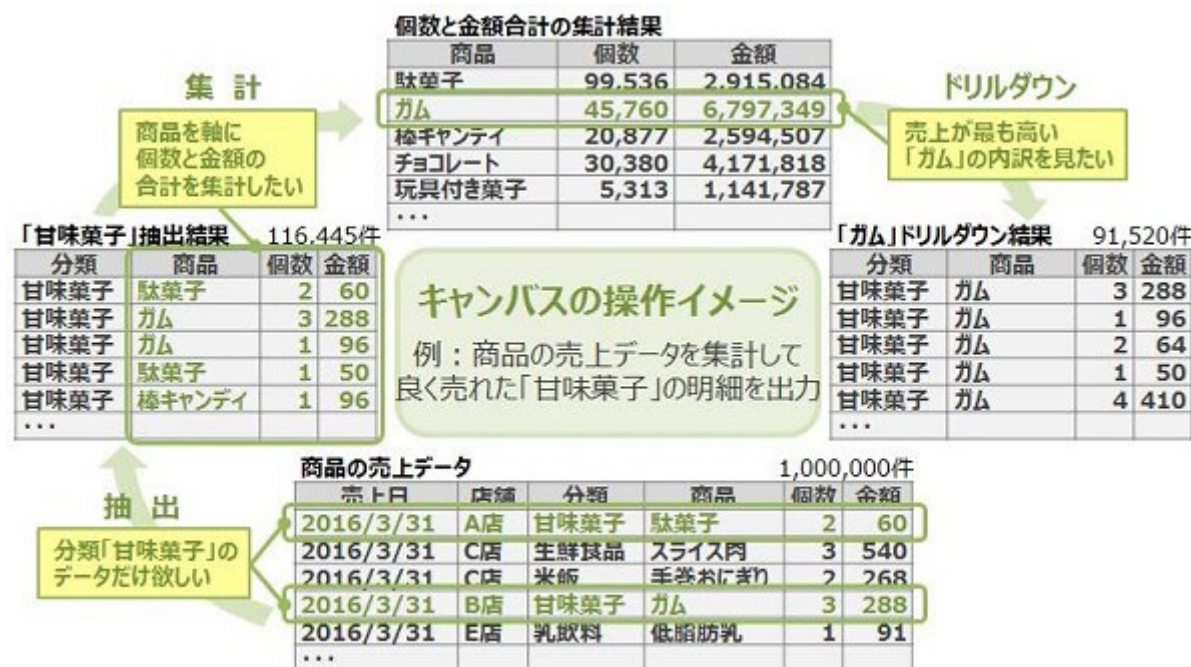


～データを見ながら必要な情報を導き出すための仕組みを提供～

2016年3月25日

当社では、データ加工ツール「ShunDesigner/DE V2」にデータ加工ビューア「キャンバス」を機能追加し、2016年4月よりご提供いたします。「ShunDesigner/DE V2」は、富士通株式会社が開発・販売している「Interstage Data Effector」のWebビューアです。今後は、テクニック集の拡充等で製品の充実を図り、2018年末までに90本の販売を目指します。

多様化した大量の情報から高速かつ高精度な判断を求められるビッグデータ時代において、「情報を集め、蓄積し、自在に統合して活用したい」というニーズにお応えするため、当社では「ShunDesigner/DE V2」を販売しております。本製品は、Webブラウザによる簡単操作でCSV形式のテキストファイルを集計・加工するツールで、独自技術によって膨大なデータを高速に処理することができます。情報系システムや、システム間データ連携・移行業務への適用など、様々なお客様にご愛顧いただいております。



本製品は、予め条件を組み立ててデータ加工を実行する利用シーンを想定していますが、今回ご提供する「キャンバス」機能は、Web画面でデータを目で見ながら、データの抽出／ソート／集計およびドリルダウン条件を設定し、必要な情報を高速データ処理で導き出していくことが可能です。アクセスログなどの証跡情報の調査や、業務報告に掲載する統計情報の集計など、様々なシーンでご利用できます。

## 製品名

- ShunDesigner/DE V2

## ShunDesigner/DEの特長

1. 豊富な加工条件のバリエーション  
キャンバス機能で設定可能な加工条件は、抽出，ソート，集計およびドリルダウンです。既存機能では様式の異なるCSV同士の結合(連結)も可能で、複数の条件をフローとして組み立てることで、より複雑な加工要件にも対応できます。
2. Webブラウザによる操作とアクセス管理  
加工条件の編集から処理結果の参照まで、全てWebブラウザ上で簡単に操作できます。また、データファイルや加工条件に対して、グループおよびユーザ単位でアクセスを制限でき、関係者内での限られたデータ共有も可能です。
3. バッチ呼び出しによる定期実行  
システムで設定した加工条件に名前をつけて保存し、名前を指定して繰り返しバッチおよびシェルプログラムで呼び出せます。スケジューリングソフト等で定期的に起動すれば、月次や日次による定型処理の運用も可能です。
4. 外部プログラムとの連携  
保存した条件を外部プログラムから起動するためにHTTPインタフェースを備えています。高速データ加工を得意とする本製品を組み込むことで、大量データの処理時間に課題のある業務処理の性能改善に貢献します。

## 販売価格

品名	型番	標準価格	備考
ShunDesigner/DE V2	PCA2913502	1,000,000円	サーバライセンス ユーザ数の制限はありません

## 動作環境

- 以下のサーバOSで動作します。  
Windows Server 2012 / Windows Server 2008  
Red Hat Enterprise Linux 7 / Red Hat Enterprise Linux 6

## 販売目標

- 3年間で90本の販売を目標とします。

## 関連リンク

- [ShunDesigner/DE紹介サイト](#)



記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年3月25日

会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ  
官公庁ソリューション本部 政策推進ソリューション部  
 電話: 03-6424-9818  
 E-mail: [fjqs-shun@cs.jp.fujitsu.com](mailto:fjqs-shun@cs.jp.fujitsu.com)

[ページの先頭へ](#) 



## ADME Database バージョン42を発売開始

[当社へのお問い合わせ](#)**2016年3月25日**

当社は、4月1日(金曜日)よりADME Database バージョン42を発売いたします。医薬品開発のスピードアップが望まれる昨今、医薬品候補化合物の発見から、臨床に至るまで長期間を必要とする現状があります。このようななかで、医薬品開発において重要となる、薬物代謝に関する文献が数多く発表されており、その文献から目的とする情報を収集するために多大な手間と時間がかかっています。ADME Databaseは非臨床の薬物代謝を中心にデータを収載しており、Webブラウザからキーワードや化学構造を入力することで、効率的に目的とする情報を収集することができます。

今回は、約100件の文献から約440件の非臨床薬物代謝データ<sup>(注1)</sup>と、約50件の臨床薬物相互作用データを追加しました。

ADME Databaseは、クロアチアのレンディック博士<sup>(注2)</sup>が文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報<sup>(注3)</sup>を中心としたデータベースです。主に製薬企業における新薬開発、および大学教育の分野でご利用いただいています。

### ADME Database バージョン42

- 製品名

ADME Database バージョン42

- 特長

ヒトの薬物代謝酵素に特化したデータベース：

ヒトの主要な薬物代謝酵素（チトクロームP450）を中心に、約 118,000 件の試験管内実験のデータを収載しています。

キーワードや構造による検索：

検索は、キーワード選択のみで行う方法と、複雑な条件を入力して行う方法とがあります。薬物とその代謝物に対して、部分構造や類似構造を検索することも可能です。

臨床薬物相互作用検索：

ADME Databaseに収載された臨床薬物相互作用データをキーワードや構造で検索することが可能です。

- 発売日

2016年4月1日（金曜日）

- 価格

企業／国公立研究機関向け(同時アクセス数 10)

- ・全データベースパックA<sup>(注4)</sup>：1,620,000円／年（税込）
- ・全データベースパックB<sup>(注5)</sup>：1,944,000円／年（税込）

教育機関向け

- ・全データベースパックA (注4) :  
研究室ライセンス(同時アクセス数 1) : 270,000円／年 (税込)  
サイトライセンス(同時アクセス数 50) : 810,000円／年 (税込)
- ・販売目標  
1年間に30契約を目標とします。

用語説明

注1 非臨床薬物代謝データ:

試験管内実験の薬物代謝酵素に関する情報です。

注2 レンディック博士:

Dr. Slobodan Rendicは、薬物動態分野の著名な研究者です。

注3 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注4 全データベースパックA:

薬物代謝酵素+トランスポータ+キネティックデータベース

注5 全データベースパックB:

全データベースパックA+臨床薬物相互作用データベース


記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年3月25日

会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社  
ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部  
 [お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）](#)

[ページの先頭へ](#) 





## Pepper（ペッパー）の「ロボアプリパートナー」として認定

当社へのお問い合わせ

## ～Pepperアプリの受託開発を開始しました～

2016年2月12日

当社は、Pepperのアプリケーション開発における実技および筆記試験を経て、ソフトバンクロボティクス株式会社の「Pepperパートナープログラム」より一定の知識や技術水準を満たしたと評価され、ロボアプリ(注1)パートナー（Basic）として認定されました。

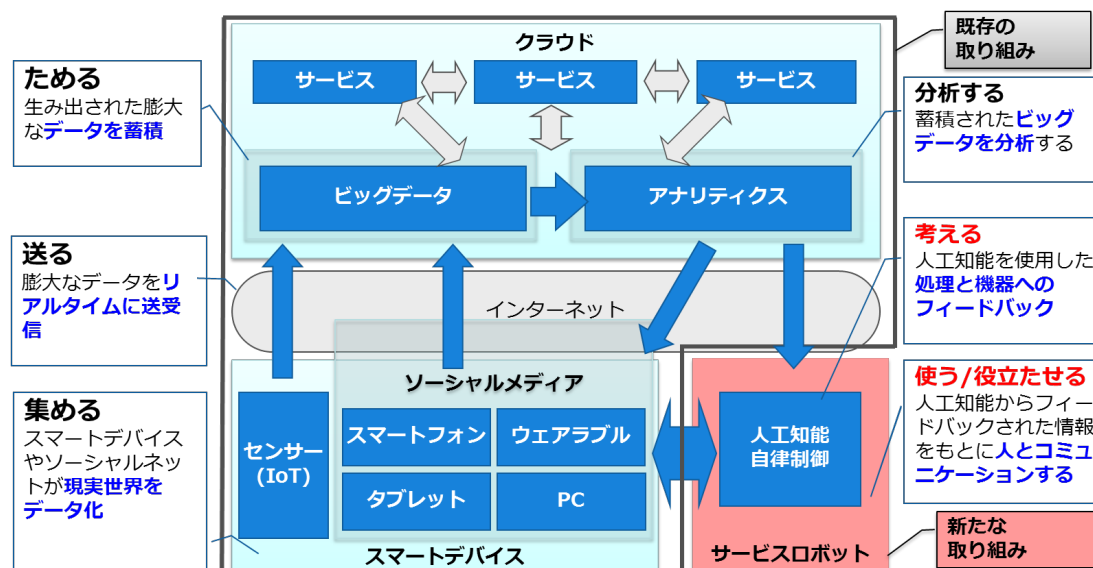
（認定ID：[FJQS] PPP201508022 [FQSS] PPP201508028）

先端ICT企業として、様々な業種における豊富な導入実績で培ったノウハウで、案内・受付・教育・介護・セキュリティなど、幅広い分野でPepperの導入をサポートします。Pepperの活用についてのご相談は、FJQSグループへご用命ください。



当社では、お客様に最先端のICTを活用した様々なソリューションをご提供することを基本として、ホテル業、輸送業、農業などの幅広い分野においてクラウドサービス（SaaS）を提供しています。特にホテル業界においては300軒を超える導入実績があり、現在も加速度的に増加しています。（オンプレミス導入を合わせると750軒）

近年、社会問題として「生産年齢人口の減少」が顕在化し、様々な業界で波紋が広がっています。その解決策の一つとして、ロボットの活用ニーズが高まっています。これを踏まえ、当社では、一昨年よりロボティクス分野の研究に着手し、ソフトバンクロボティクス社のPepperを、サービスロボット活用ソリューションのインフラとして選定し、「ロボアプリパートナー（Basic）」としての認定を取得しました。



富士通グループの持つICT技術と、様々な業種における豊富な導入実績で培った業務ノウハウを統合し、生産年齢人口減少という社会問題の解決に向けて、鋭意推進してまいります。

注釈

注1 ロボアプリ:

ロボアプリは、ソフトバンクロボティクス株式会社の登録商標です。

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。  
プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年2月12日  
会社名: 株式会社富士通九州システムズ

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ  
未来社会ソリューション本部 デジタルサービス開発部 担当：常盤、堀野  
☎ 電話: 092-260-6211

[ページの先頭へ](#) ↑

[プレスリリース](#)

## クラウド型の安全データシート作成支援サービス「ezSDS」に 配合分解機能を追加

2016年1月29日

当社は、日本ケミカルデータベース株式会社（JCDB社）と共同開発したクラウド型の安全データシート作成支援サービス「ezSDS」に配合分解機能<sup>(注1)</sup>を追加し、12月より提供を開始しました。

現在、日本では、化学物質に関する法律によって指定された化学物質を一定の割合以上含有する化学品について事業者間で譲渡・提供する際、SDS<sup>(注2)</sup>の提供が求められています。本サービスは最新のJISに対応しております。

さらに今回の機能追加により、塗料製品のように混合物同士を混ぜ合わせた製品のSDS作成を省力化することができます。また、従来のSDS関連製品は高価なため、導入に抵抗のある中小企業を中心に販売予定です。

[当社へのお問い合わせ](#)

## 製品名

- ezSDS（イージーエスディーエス）

## 新機能

1. 配合分解機能  
化学品の配合構成をツリー状にビジュアル表示
2. マスキング機能  
必須原料以外を非表示にすることや、成分の含有量を幅表示することで自社情報の保護が可能

## 本製品の特長

1. クラウド型による低価格を実現  
クラウド型でSDS作成機能を提供するため、投資費用を最小限に抑えることができ、かつ、運用費用削減にも貢献できます。
2. 最新の「化学物質データベース」の情報を搭載  
豊富な化学品情報を独自で持つJCDB社と協業し、定期メンテナンスを実施することで、利用者は最新の「化学物質データベース」を利用することができます。
3. コールセンターによる安心な支援体制  
SDSを作成するための専門知識のない利用者でも、質問を受付けるフロント窓口（当社）とSDS作成に関する「教育」、「コンサル」および「作成代行」などをJCDB社と

協業することで、サービスを導入しやすい環境を提供します。

動作環境

- ブラウザ：Internet Explorer バージョン9以降推奨
- アプリケーション：Microsoft Excel（Office 2010以降推奨）

提供時期

- 2015年12月より提供開始

販売価格

- 月額 60,000円～（税抜）  
従量制および定額制を採用しており、利用方法により柔軟な対応が可能です。

販売目標

- 年間で30社への販売を見込んでおります。

用語説明

注1 配合分解機能：  
原料および物質を混合して作成された製品の化学物質と含有率を計算。

注2 **SDS**：  
Safety Data Sheetの略称。 安全データシート。化学品の有害性等に関する情報シート。  
化学品の取引時に提供され、使用者の安全な取扱いに活用。


関連リンク

- [ezSDS紹介サイト](#)

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。  
プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

日付: 2016年1月29日  
会社名: 株式会社富士通九州システムサービス

本件に関するお問い合わせ

株式会社富士通九州システムズ  
官公庁ソリューション本部 テクニカルサポートセンター  
電話: 096-287-2122  
 [お問い合わせフォームへ](#)

[ページの先頭へ](#) 